

「モーシオンタイトの開発について」

普通のねじを標準トルクで締め付けて振動試験(NAS3350)を行っても強度区分 8.8 以上の熱処理ボルトの場合、簡単に緩むことはありません。但し、たとえば 100 本振動試験を行うとすると、軸力のバラツキのために 1~2 本程度は早く緩む可能性があります。製造メーカーは、このたった 1 本の緩みのために接着剤を使用したり、緩み止めナットを使用したりします。当然、ボルトの本数が多ければ多いほどかかるコストは莫大なものになっていきます。しかし、1%でも緩みの可能性があれば対応せざるをえないのが安全を求める世の中の現状です。

この 1%を無くすために開発した製品がモーシオンタイトです。モーシオンタイトは、軸力のばらつきが標準品の 1/2 程度なので、緩みの原因とされる極端に低下した軸力を付与されることがありません。そのうえで、わずかに撓んだねじ山の弾性力で強力な緩み防止力を発揮します。

この世の中で、どんな条件下においても絶対に緩まないというねじは存在しませんし、今後どれだけ時間とお金をかけても開発されることはないでしょう。しかし、ある条件下においては緩まない、というねじはこれまでもたくさん存在しています。そのある条件下という選択肢が最も多いねじがモーシオンタイトであれば、開発者にとってこれ以上幸せなことはありません。是非多くの皆様にモーシオンタイトを知ってもらい、こんなに便利で性能の良いねじがあることを経験して頂きたいと思います。

汎用性の高いねじは、誰もが簡単にしかも安価で使用できるものでなければ意味がありません。近い将来、モーシオンタイトが「最も信頼のおけるねじ」として世界中で紹介されるように、さらに性能を高めた製品作りに努めてまいります。

有限会社アートスクリー
代表取締役 松林興